

# 令和5年度 第2回 かごしま外国人材 受入活躍推進会議

## 在住外国人生活 支援モデル事業 概要説明

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会



# contents

## 在住外国人生活支援 モデル事業

事業概要について

取組の様子

事業を通じての課題

# 在住外国人生活支援モデル事業概要



この事業は赤い羽根共同募金配分金で実施しています

在住外国人生活支援モデル事業（令和4年度～6年度）

## 地域

技能実習生をはじめとする  
在住外国人

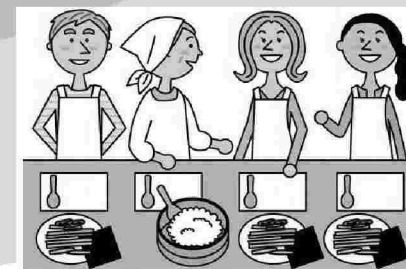


地域の一員として  
受け入れる



地域の関係機関・団体や  
地縁組織との連携

交流を通じて  
心の距離を縮める



地域におけるインフォーマルな地域資源の発掘と包括的な支援体制の構築

# 在住外国人生活支援モデル事業概要

在住外国人生活支援モデル事業（令和4年度～6年度）

県内で増加している外国人就労者をはじめとする在住外国人の孤立感の解消と地域課題の解決を目的としてモデル地区と連携して次の事業に取り組む

令和5年度モデル地区：南さつま市（社協）

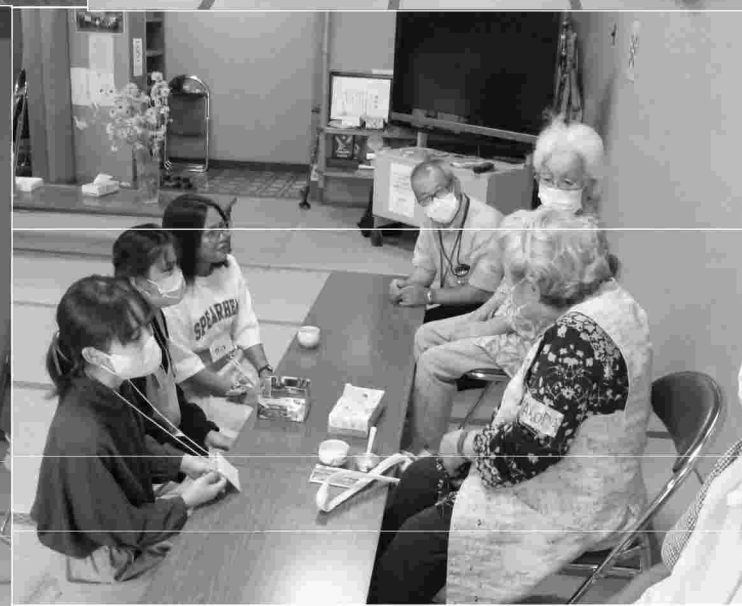
困りごと実態把握事業 【知ること】	安心生活支援事業 【支えること】	地域つながり支援事業 【つながること】	全県域対象事業 【伝えること】
在住外国人に対し「生活における困りごと調査」を行い、地域での日常生活における困りごとの実態を把握する。併せて、地域住民に対し「在住外国人意識調査」を行い、地域における外国人受け入れの意識を把握し、地縁組織等との関わり方等について検討する。	困りごと実態把握事業の調査結果を基に、地域における外国人支援に係る地域資源の聞き取りや掘り起こしをするための検討会を行う。また、在住外国人を対象に、週末を活用した外出支援活動を行い、地域において安心して生活できるための基盤づくりを行う。	在住外国人と地域住民が関わる機会を作るため、在住外国人に社協が行う各種事業（サロン活動や子ども食堂、学習支援事業等）に参加してもらう。また、異文化交流事業として、料理教室等を開催し、相互の文化への理解を促進し、心の交流を図る。	全県域において、在住外国人の地域における生活の様子や関わり方等を正しく理解し、地域における生活を支援する基盤づくりを行うためのセミナー等を開催する。

# 取組の様子



南さつま市  
万世地区サロンとの交流会  
2023.9.29

令和5年度／地域つながり支援事業







取組の様子

南さつま市  
生け花体験教室  
2023.9.16

令和5年度／安心生活支援事業  
地域つながり支援事業



# 出水市 竹灯籠透彫教室 2023.3.19

令和4年度／安心生活支援事業  
地域つながり支援事業



取組の様子



**出水市**  
**米ノ津東地区コミュニティ**  
**協議会との連絡会**  
2023.1.24

令和4年度／安心生活支援事業

**取組の様子**



出水市  
米ノ津東地区  
コミュニティ協議会  
グラウンドゴルフ交流会  
2023.6.17

令和5年度／安心生活支援事業

取組の様子





# 取組の様子

全県域対象  
在住外国人生活支援  
オンライン研修会  
2023.2.28

令和4年度／全県域対象事業

事業を  
通じての課題

在住外国人生活支援  
モデル事業

交流機会の確保や  
きっかけづくり

線から面の関わりへ

双方向の関係づくりへ

## 【課題①】

# 交流機会の確保や きっかけづくり



在住外国人向けアンケート調査チラシ（出水市）

「積極的に交流したい」  
「どちらかと言えば交流したい」  
住民の半数以上の回答

そのうちの大半は・・・

「交流の機会がない」  
「交流の仕方がわからない」と回答

南さつま市民生委員・児童委員向けアンケート調査結果より

身近な地域における  
交流機会を増やしていく必要性

事業を通じた住民間の交流の  
「きっかけ」づくり

## 【課題②】

# 「線」から「面」の 関わりへ



S L A と万世地区サロンとの金柑取り（津貫にて）

一部ではあるが

点（在住外国人）と点（地縁組織や団体）が  
線でつながってきてはいるが…

地域全体での関わり（面）には至っていない

- ・地域全体の関心事としてとらえるには??
- ・継続的に関わりを持ち続けるには??

線と線を結ぶ仕掛けや多くの関係者や住民との  
協働による取組

地域全体で関わる必要性  
（面での関わりへ）

## 【課題③】

# 一方向から双方向 の関係づくりへ



お互いの国の料理の作り方を教え合う

住民向けアンケート結果から読み取れる  
「支援の対象」という考え

在住外国人も地域住民の一員  
それぞれ「役割」があり「地域の担い手」  
ではないのだろうか？

「日本人・外国人と言葉にするとそこに壁を感じるような気がする。南さつま市に住所をおいたら同じ市民となるわけなので、市民として同様に接していけたらいいと思う。」

南さつま市民生委員・児童委員向けアンケート調査結果（自由記述欄）より

「教える」⇔「教わる」 「支える」⇔「支えられる」  
双方向性関係づくりが求められる

# まとめ

## 3つの課題を通じて思うこと

課題① 交流機会の確保やきっかけづくり

課題② 線から面の関わりへ

課題③ 一方向から双方向の関係づくりへ



身近な関わりが増える  
⇒ 地域に受け入れられている実感



地域を好きになる・地域定着のきっかけ